

## 2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		排水路整備事業					
事業の概要		平成16年台風23号による被害もまだ記憶に新しい現在、排水路の整備については各地域とも強い要望がある。、水害防止・環境衛生の向上のため、早期に排水路の整備を実施することとしている。					
		<実施箇所> 松ヶ池通線、中田通線、八幡線、加悦金屋線、鳴滝線、上地宮ヶ谷線、後野温江線、中村奥手線、新波止場線、藤ヶ森2号線、岡ノ下線、野田川本線、男山線、マトバ2号線、石川保育所線、真鶴月見線、上司谷川、成田水路					
		事業期間	平成19年度				
		総事業費	20,742	本年度事業費	20,742	交付金交付額	10,371
事業 評 価	事業の必要性	排水路の整備については各地域とも強い要望がある。行政としても水害防止・環境衛生の向上のため、早期に排水路の整備を実施する。					
	事業の有効性	本事業の実施により浸水区域を解消し、大雨時にも町民が安心して生活できるようになる。また、有蓋側溝とすることにより道路を広く使うことができ、さらに、臭気の拡大を防ぐなど、生活環境の改善を図るうえで多くの効果がある。					
	事業の効率性	排水路の整備により環境衛生の向上が期待でき、快適でやすらぎのある生活環境づくりに資する。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果 大雨時の浸水が常態化している区域等では、被害後の復旧等に係る費用の削減が見込まれる。また、各種防災事業と関連させることによって、より能率的に効果を発揮するものである。また、水路洗掘の防止により浚渫等に係る経費の削減にも資する。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。